

1 在亜沖縄県人連合会

(原文)

RESILIENCIA (癒し - いやし)

Este aniversario simboliza la resiliencia del pueblo okinawense.

El 15 de mayo de 1972 se restituyó a Okinawa como prefectura de Japón y dejó de estar bajo el dominio temporal de EEUU. Si bien hay muchas opiniones sobre esta fecha, yo quiero destacar ese momento como el comienzo de una nueva Okinawa: la Okinawa que todos conocemos y queremos tanto.

Una Okinawa en donde la gente intentó dejar atrás la guerra para empezar a curarse.

Una Okinawa donde pudieron hacer valer su identidad tan característica y única, y sentirse orgullosos de ella.

Una Okinawa que comenzó a transitar un camino de vida sin remordimiento ni rencor.

Y por eso viven en paz y son tan longevos!

Y por eso son tan amables!

Y por eso nosotros nos sentimos orgullosos de ser okinawenses del mundo!

Muchas felicidades por este aniversario!

(日本語仮訳)

レジリエンス

本記念日は、沖縄県民のレジリエンスを表します。

1972年5月15日に米国統治下にあった沖縄は日本の一県として復帰されました。

この日に対して、様々な意見（か想い）があると思いますが、私は新しい沖縄の始まりとして強調したいところです。それは、今皆が知っている、皆が大好きな沖縄のこと。心の傷を癒すために、戦争を乗り越えようとする沖縄。ユニークなアイデンティティーを守ることができ、それを誇りに思う沖縄。心がとがめない、恨みを感じない道を歩み始めた沖縄。

そういうことから、沖縄の人は、平和に生きて、長生きしている！そして、親切な人達である！

そのため、私達は世界のウチナーンチュであることを誇りに思います。

記念日おめでとうございます。

2 韓国沖縄県人会

(原文)

(1) 沖縄復帰 50 周年記念式典を迎えられたことに感謝します。私たちは海外に移住をしても故郷である沖縄を愛し誇りに思っています。その思いが形として現れたのが沖縄県人会であり、この県人会が世界に広がっています。

ある人が私にこのような話をしてくれました。「中国人が海外に移住をした場合、食堂をつくり、韓国人は教会で、日本人は工場を建てる」。では、沖縄人はどうだろうか？私の結論は県人会でした。なぜなら、そこにゆいまーる精神と万国津梁の精神があるからです。この精神は人々に平和を与えます。この平和の精神を残してくれた先人に感謝であり、いつまでも平和を愛する沖縄であることを願います。사랑해요 오키나와 (サランヘヨ オキナワ)

(2) 私達の故郷沖縄が戦後アメリカ領事下から本土復帰し、半世紀 50 周年を無事に迎えられたことを感謝します。この日を通し、歴史を振り返り、更に奮い立つ出発の 1 日になることを願います。

海外移民者である私は恋しい故郷を思い、目を閉じれば青い海、青い空、そして父母兄弟のお顔が広がっていきます。そして、暖かい気持ちになります。激動の中、苦勞してきた親や先人の皆様に 心から感謝の思いが沸くのです。

沖縄県民は日本の何処よりも平和を愛する人々です。美しい自然を守り、文化を保存し、平和を後孫に教えていくことが大人の役割だと思います。利己主義では絶対に 平和が 来ないということを毎日のニュースで みて感じています。真の愛で 互いのために 生き、和合 協力し、共に暮らす 幸せな 未来を 作っていく 沖縄に なるようこれからの発展を期待し、お祈りいたします。



3 米国加州サクラメント沖縄県人会

(原文)

10年一昔と言いますが、月日の経つのは早いもので、沖縄の人々が一丸となって闘い勝ち取った本土復帰のあの日から早50年の歳月が流れたのですね。

私も高校生の時大勢の仲間と共に1号線をひたすら嘉手納基地に向け声高らかに「沖縄を返せ!」と、シュプレヒコールを上げながらデモ行進をしたものです。

私達の頭上を威嚇して飛ぶ異様に大きなB52の腹を怖い思いで見た事を今でもはっきり思い出すことができます。

復帰後の生活は様変わりしました。

日本国沖縄県民という事実が自他共に認められ、戦後27年目にしようやく日本人としての人権が確立した事に成り、日本中何処へでもパスポート無しで自由に行く事が出来るようになったのです。

この人権の確立が沖縄県民に誇りと自信を与え、自国のみならず世界の国々にも広く視野を広げていく活力となりました。

元々沖縄県民には国際感覚が豊かに備わっているように思います。其れは沖縄の先人達から綿々と受け継がれてきたものだと思います。

東京での生活を短大生時代を含め5年間送った私は那覇市に戻り会社勤めなどを経て、縁あって米国人男性と母親の強い反対を押し切って結婚したのも、米国でもちゃんと暮らして行ける強い自信があったればの事だったのです。

紆余曲折有った結婚生活も42年間続ける事が出来ています。

沖縄県民の県民性で有る明朗でへこたれないながらも、寛容性を発揮して社交性に富んでいるという長所を生かし、事に当たれば、道はおのずから開けて来るものと信じます。

沖縄独特の文化を海外にも紹介し、広めて行く活動を日々重ねている海外の沖縄県人会の皆様の努力がある限り、「世界に羽ばたくウチナーンチュ」は、いつの時代にも輝き続けることでしょう。



4 スペースコースト沖縄県人会 -ゆいまーる-

(原文)

Dear Sir,

First, Space Coast Okinawa Kenjin Kai, Yuimaru would like to thank the Office of Prefectural Government for informing us the 50th Anniversary of commemorative ceremony of the return of Okinawa to Japan.

Second, we would sincerely like to congratulate all on this special milestone of returning to the homeland. We would like to join you for the ceremony and celebrate with you; however, due to Covid 19, it is difficult to travel at this time.

Third, please know that we continue praying for the success of this event and for the future of Okinawa as we here in the United States try to preserve Okinawan culture and heritage in our Space Coast community of Florida, USA.

Respectfully yours,

この度は本土復帰 50 周年記念誠におめでとうございます。貴県の益々のご発展を心よりお祈り申し上げます。 敬具

(日本語仮訳)

スペースコースト沖縄県人会 ゆいまーるとしましては、沖縄復帰 50 周年記念式典について私たちにお知らせいただきましたこと、感謝を申し上げます。

本土復帰というこの貴重な節目を謹んでお祝いしたく存じます。私たちも式典に参加し、共にお祝い差し上げたいところではありますが、コロナにより現在はそちらへ伺うことが叶わない状況です。

私たちがここアメリカで、沖縄の文化と先人の遺した物をフロリダのスペースコーストのコミュニティで保存しようとしながら、この式典の成功と沖縄の未来を祈念していますことを是非お知らせいただければと思います。

5 フェイエットビル沖縄県人会

(原文)

沖縄復帰 50 周年記念、誠におめでとうございます。アメリカノースカロライナ州フェイエットビル沖縄県人会会員一同心よりお祝い申し上げます。

沖縄から遠く離れたアメリカでゆいまーるの精神は受け継がれています。1995 年にフェイエットビル沖縄県人会を発足後、県出身者とその家族を中心に親睦を深め、我々のアイデンティティの礎である沖縄文化の継承に尽力しております。

また、地域イベントを通して沖縄芸能を積極的に紹介しており、今の世の中だからこそ必要なゆいまーるの精神を沖縄文化を通して今後とも継承、流布していく所存です。

これからも沖縄の明るい未来と益々の発展を祈念しております。



6 北米沖縄県人会

(原文)

Haisai! On this occasion of the 50th anniversary of Okinawa reversion to Japan, it is my desire to see our Uchinaanchu brothers and sisters in Okinawa have their destiny under their own control.

We are all hopeful that the leaders of the world will realize that the future of humankind will only be guaranteed by peace. If all the leaders can agree to work together to avoid all the tensions and conflicts, then our Uchinaanchu brothers and sisters can live in peace and enjoy everything that they deserve.

Despite this lingering COVID-19 pandemic and the resulting travel restrictions, we all in Southern California are looking forward to being able to go to Okinawa later this year to participate with you all!

Our prayers are with everyone in Okinawa to stay healthy and again we pray that this COVID-19 pandemic restrictions will end so that we can commemorate this anniversary properly!

(日本語仮訳)

ハイサイ！本土復帰 50 周年のこの折、私の願いは、沖縄にいるウチナーンチュの仲間たちが自分たちの手で運命を切り開くのをこの目にしたいということです。

私たちは皆、世界の指導者たちが、人類の未来は平和によってのみ保証されることを理解していることを願っています。もし全ての指導者が緊張や衝突を避けるために共に歩むことに同意することができれば、その時にはウチナーンチュの仲間たちは平和に生き、そして受けるべき全てを手にすることができるのです。

今なお続くコロナによるパンデミックと、それに伴う渡航の制限もありますが、南カリフォルニアにいる私たちは皆、今年中には沖縄へ行けるようになり、共に分かち合えることを楽しみにしています。

私たちの祈りは、健康でありたいと思う沖縄にいる全ての人たちとともにあり、また、この記念日をふさわしく祝えるよう、コロナのパンデミックによる制限が終わることも祈っています。

7 ポリビア沖縄県人会

(原文)

おめでとうございます。

海外に住む沖縄県人は、本土より一足早く日本人としての身分が認められ、日本 パスポートの発行が許可されたことを、琉球政府推進、戦後計画第一次移民団としてポリビアに入植した父より聞きました。戦後海外に移住した当時のウチナーンチュは、日本人ではなかったそうです。

晴れて日本のパスポートを手にしたときの気持ちは例えようがないほど嬉しかったと、誇らしげに笑顔を見せた父を思い出します。

その父も 20 年前に亡くなりました。復帰 10 年、20 年と節目の年になるとポリビア に移住を決意した両親の希望と夢に満ちた人生を振り返り、緑豊かな大地で、誇りをもってポリビアのウチナーンチュとして生きるその子孫の成長を見守りながら、未来に夢を託し、お祝いしております。

8 北カリフォルニア沖縄県人会

(原文)

On the 50th Anniversary of Okinawa's reversion to Japan, we extend our good wishes to the people of Okinawa and urge them to share their singular cultural tradition, unique history, and their skills of living at the crossroads of East, North, and Southeast Asia to work toward a world without war and conflict.

(日本語仮訳)

本土復帰 50 周年に際し、お慶び申し上げます。また、沖縄の人々には、沖縄の単一の文化伝統、独特な歴史、戦争も紛争もなく東、北、東南アジアの分岐点にあって生き抜く技術を共有していただくことをお勧めしたいと思います。



9 カナダ沖縄県人会及びバンクーバー沖縄県友愛会

(原文)

On behalf of Vancouver Okinawa-ken Yuaikai and Canada Okinawa Federation, we would like to express our warm and sincere congratulations for the 50th Anniversary of the Reversion of Okinawa to Japan.

For five decades, Okinawa has undergone a truly metamorphosis years and has emerged as a peaceful prosperous society.

We would like to extend our very best wishes to Okinawa and its people for future success in their quest for greater peace and prosperity.

(日本語仮訳)

バンクーバー沖縄県友愛会とカナダ沖縄県人連合会を代表しまして、沖縄の本土復帰 50 周年に対し、心よりお慶び申し上げます。

この 50 年間、沖縄はまさに変化の時代を経験し、今では平和で成功した社会として名を馳せています。

私たちは沖縄と沖縄の県民の皆様に対し、今後、更なる平和を築かれ、発展されますことを心よりお祈り申し上げます。



10 オキナワ日本ポリビア協会

(原文)

沖縄県が第2次大戦直後、母国日本から切り離され、米国政府の信託統治となったことで、沖縄では在住する米国兵と色々問題が発生しても、米国兵が有利になるような軍事制裁で処理され、この事について沖縄の皆様からの意見が通用しない状況であり、沖縄の殆んど住民は不満であった事で、その様な問題を解決するに当り、各地域に於いて復帰運動が盛んになり、ようやく1972年5月15日には実現し沖縄の皆様が日本人として認められ、一人前に法的権利と保護される事になって50年の歳月を迎えることが出来ましたことは、海外に居住する移住者として心深よりお喜び申し上げます。このように復帰の節目に記念祭典を行うことは、今後沖縄の発展に繋がることであり非常に良いことであります。